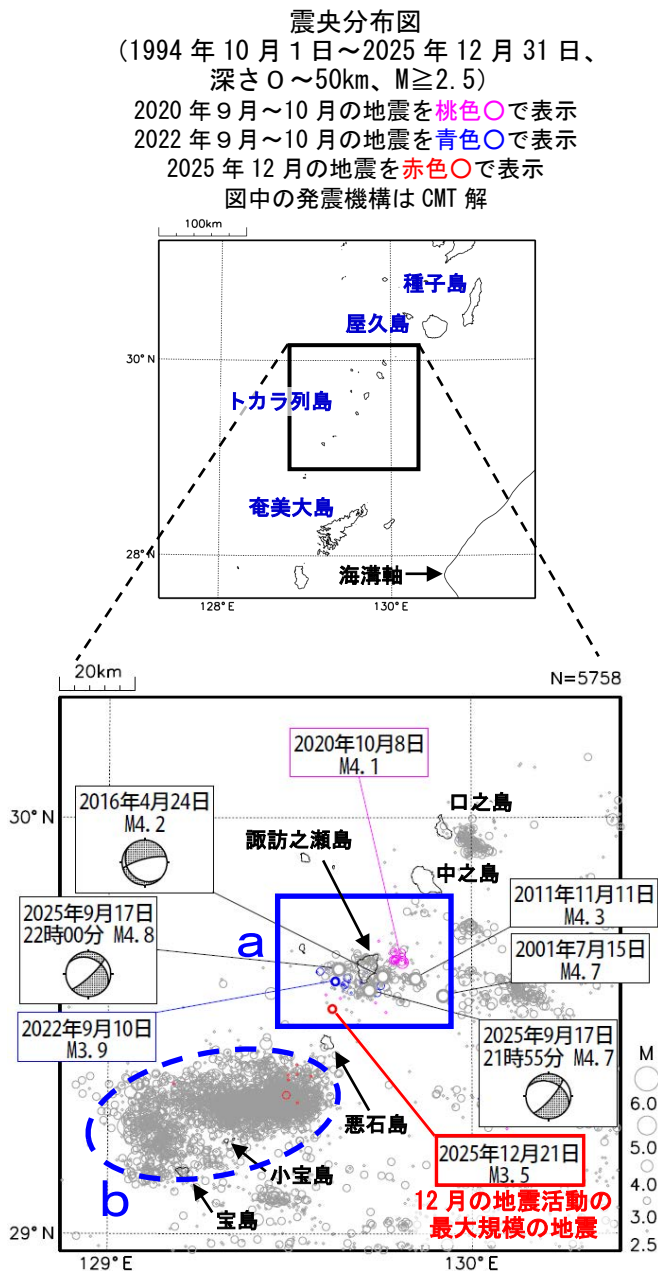


トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近）



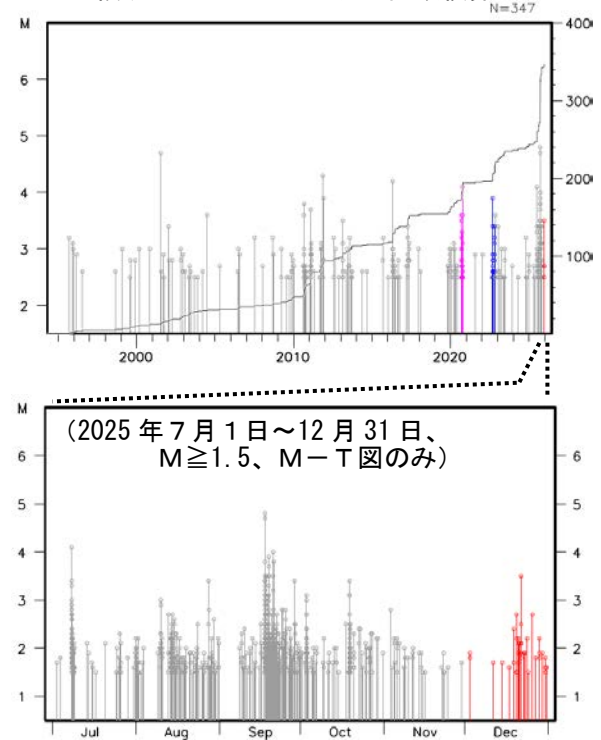
トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、2025年12月に震度1以上を観測した地震が10回（震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、21日22時03分に発生したM3.5の地震（最大震度3）である。この地震活動は陸のプレート内で発生した。なお、今回の地震活動域付近（領域a）では、2025年7月から時々まとまった地震活動が見られ、9月17日にM4.7の地震（最大震度5弱）が発生し、地震活動が活発となった。その後、地震活動は消長を繰り返しながら継続している。7月1日から12月31日までに震度1以上を観測した地震が212回（震度5弱：1回、震度4：3回、震度3：27回、震度2：47回、震度1：134回）^{（注1）}発生している。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動が見られる。最近では、2022年9月から10月の活動で、震度1以上を観測した地震が27回（震度3：5回、震度2：4回、震度1：18回）発生した。このうち、最大規模の地震は2022年9月10日に発生したM3.9の地震（最大震度3）である。また、2020年9月から10月の活動で、震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回）発生した。このうち、最大規模の地震は2020年10月8日に発生したM4.1の地震（最大震度3）である。

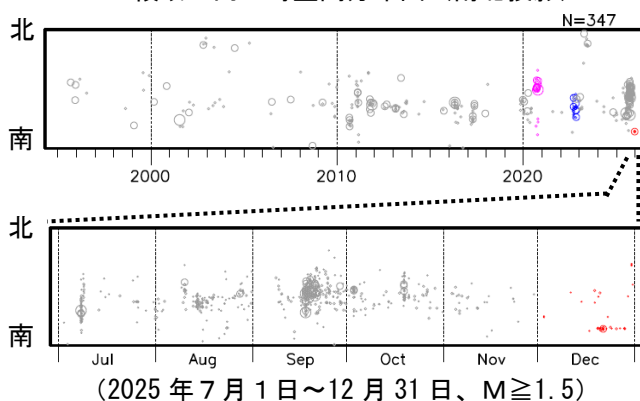
なお、今回の地震活動域の南西にある小宝島付近（領域b）では、2025年6月21日から地震活動が活発となった。

（注1）震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

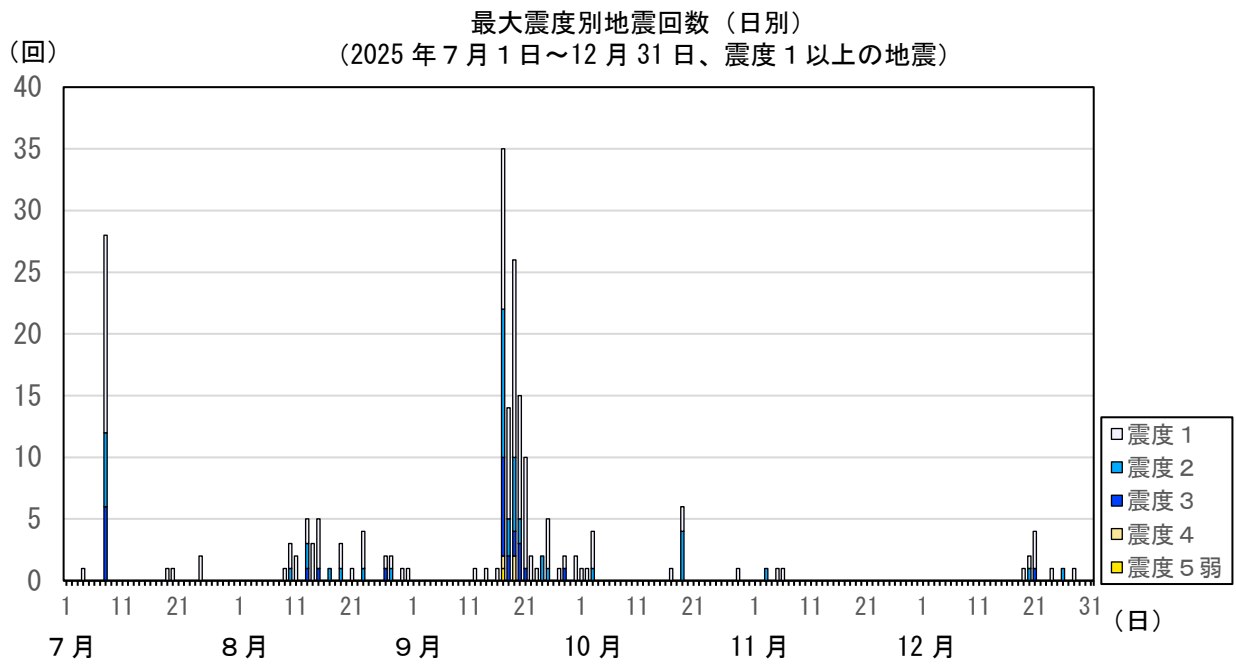
領域a内のM-T図及び回数積算図



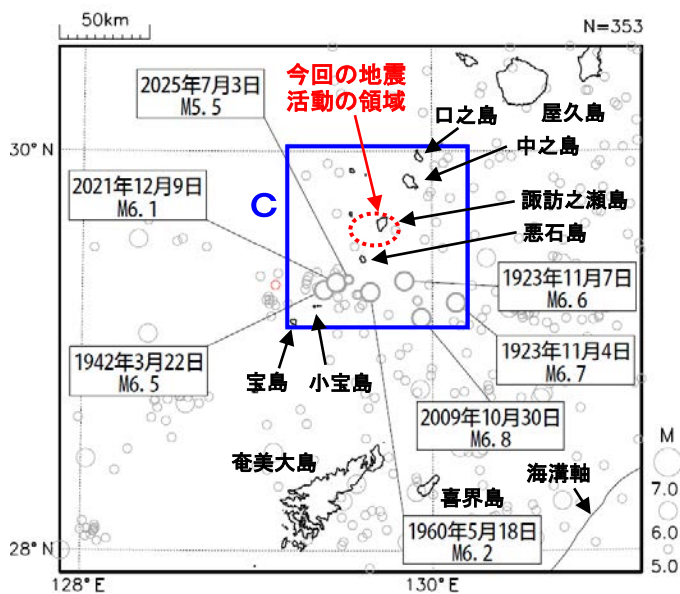
領域a内の時空間分布図（南北投影）



※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

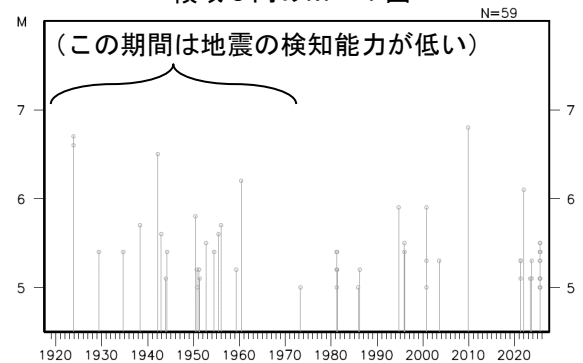


震央分布図
（1919年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ ）



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域c）では、 $M5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。このうち、2021年12月9日に発生した $M6.1$ の地震（最大震度5強）では、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

領域c内のM-T図



※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。